

## 第四次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画市民アンケート調査結果(概要)

### 1 調査の概要

地域福祉に関する市民の意識と実態を把握し、地域福祉計画を策定する上での基礎資料とすることを目的として、市民アンケートを実施した。

調査対象 : 18歳以上の防府市民 2,000人  
抽出方法 : 層化抽出法  
調査方法 : 郵送によるアンケートの配布・郵送およびWEBによる回収  
調査期間 : 令和6年7月30日から8月30日まで  
有効回答者 : 727人(郵送617人、WEB回答110人) (回答率36.4%)

<参考>

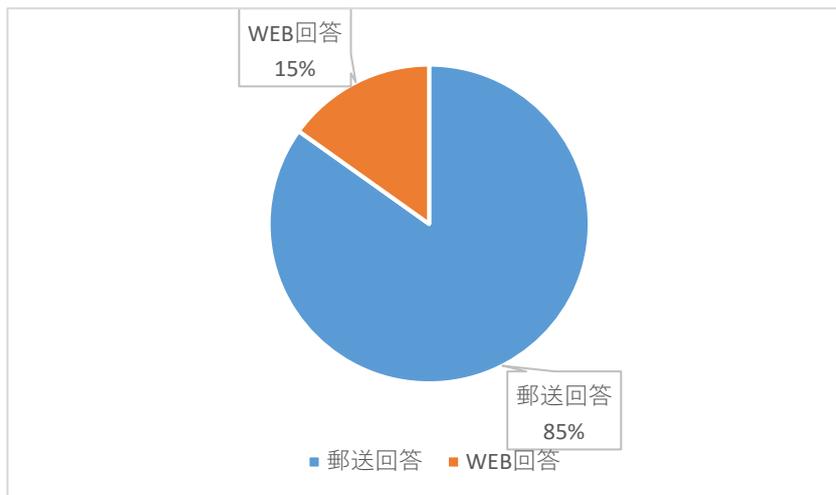
令和元年度実施の市民アンケート

調査対象 : 18歳以上の防府市民2,000人  
抽出方法 : 層化抽出法  
調査方法 : 郵送によるアンケートの配布・回収  
調査期間 : 令和元年9月25日から10月25日まで  
回答者 : 872人(回答率43.6%)

### 2 調査結果の概要

#### (1) 回答方法

今回から郵送のほか、WEBでも回答が可能となり、15.1%の人がWEBにより回答した。

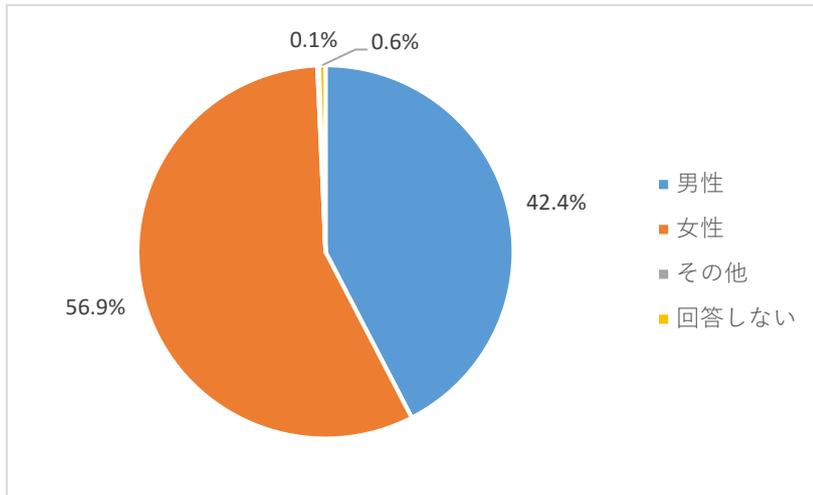


(2) 基本属性

ア 性別

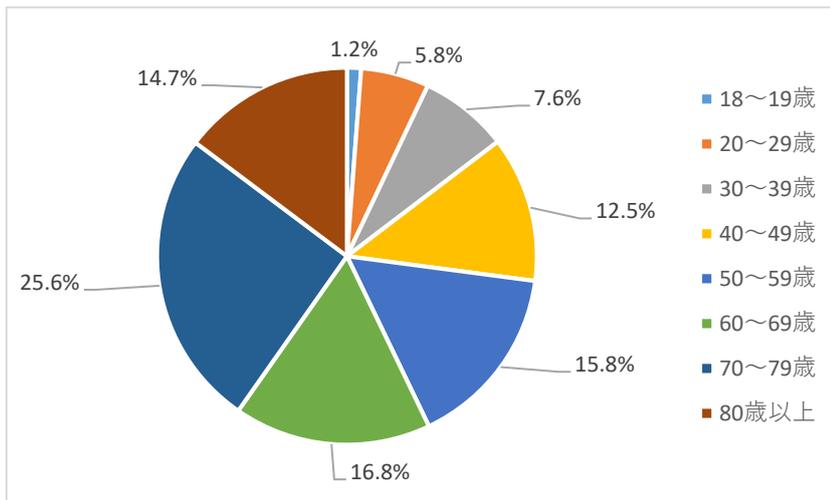
男性**42.4%**、女性**56.9%**

今回から「その他」と「回答しない」の選択肢を加えた



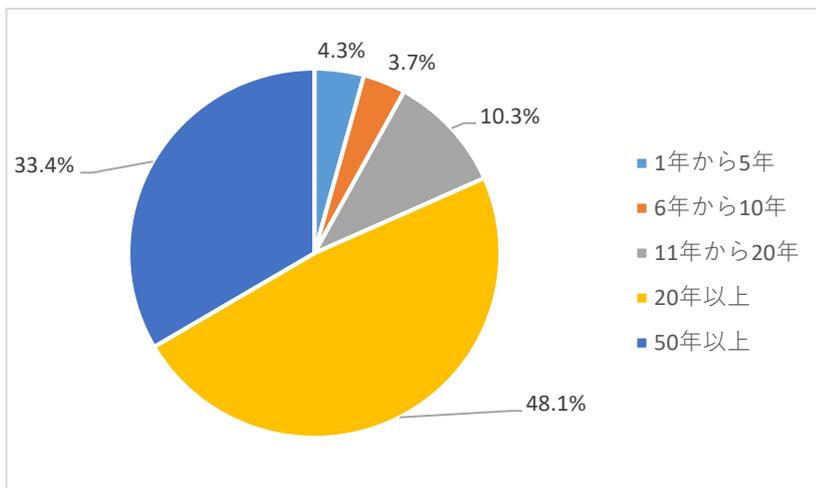
イ 年齢

「70代」が**25.6%**と最も多く、「60代」が**16.8%**と続いている。



ウ 防府市の居住年数

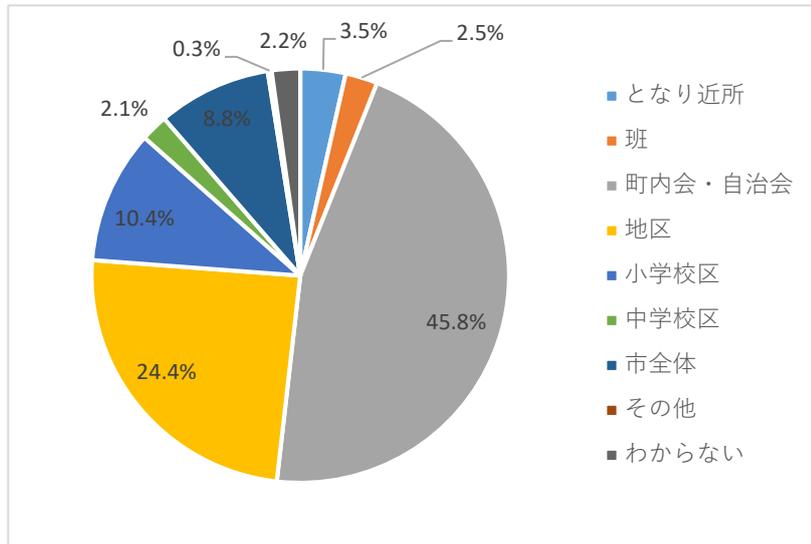
「20年以上」が**48.1%**と最も多く、「50年以上」が**33.4%**と続き、両者で8割を超えている。



(3) 「地域」について

ア 思い浮かべる「地域」とは

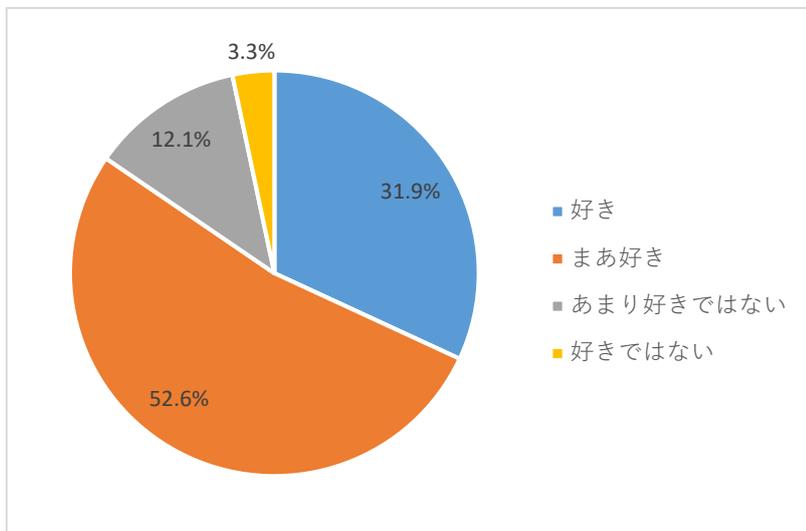
町内会・自治会（45.8%）、地区（24.4%）、小学校区（10.4%）といった身近な地域社会を思い浮かべる人が全体の8割を越える。



イ 地域への愛着

8割以上の方が住んでいる地域が好きと答えている。

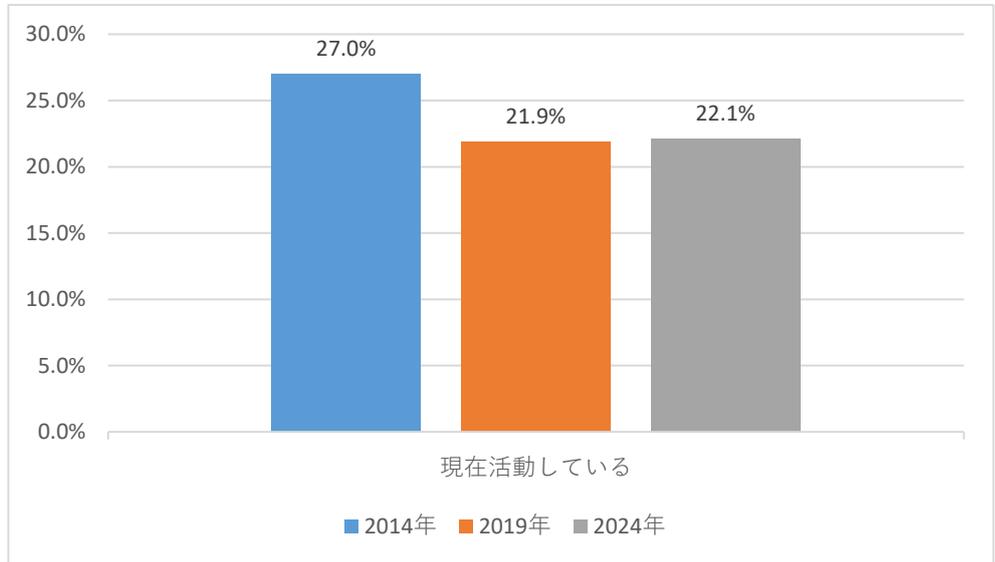
※好き（31.9%）、まあ好き（52.6%）を加えた数値



(4) 地域活動への参加について

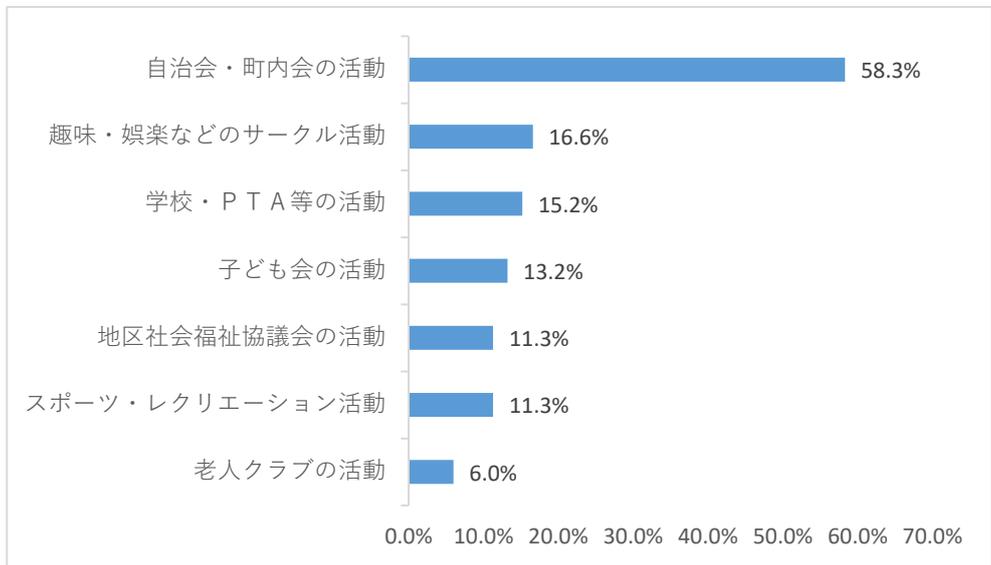
ア 地域活動への参加について(経年変化)

仕事以外に地域で活動されている人数は、2014年よりも減っているが横ばいである。厚生年金受給開始年齢の引上げ並びに高齢者雇用安定法の実施等あるいは2020年以降の5年間に新型コロナ感染拡大等地域活動への参加を阻害する要因があった中での経緯を踏まえると今後の推移が懸念される。



イ 参加している地域活動の内容

参加している地域活動の内容としては、自治会・町内会活動が一番多かった。

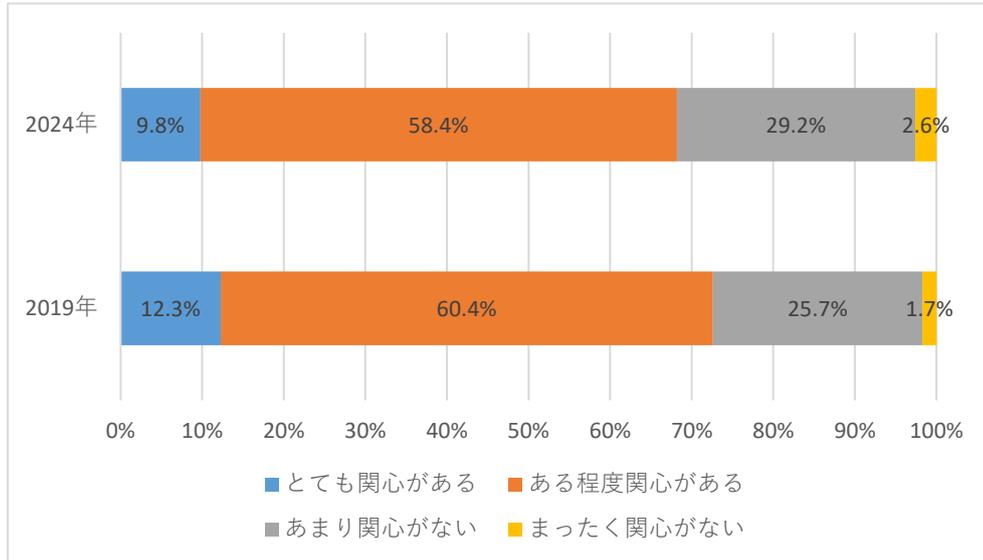


※ 数値は活動している人の中での割合である。

(5) 福祉の関心について

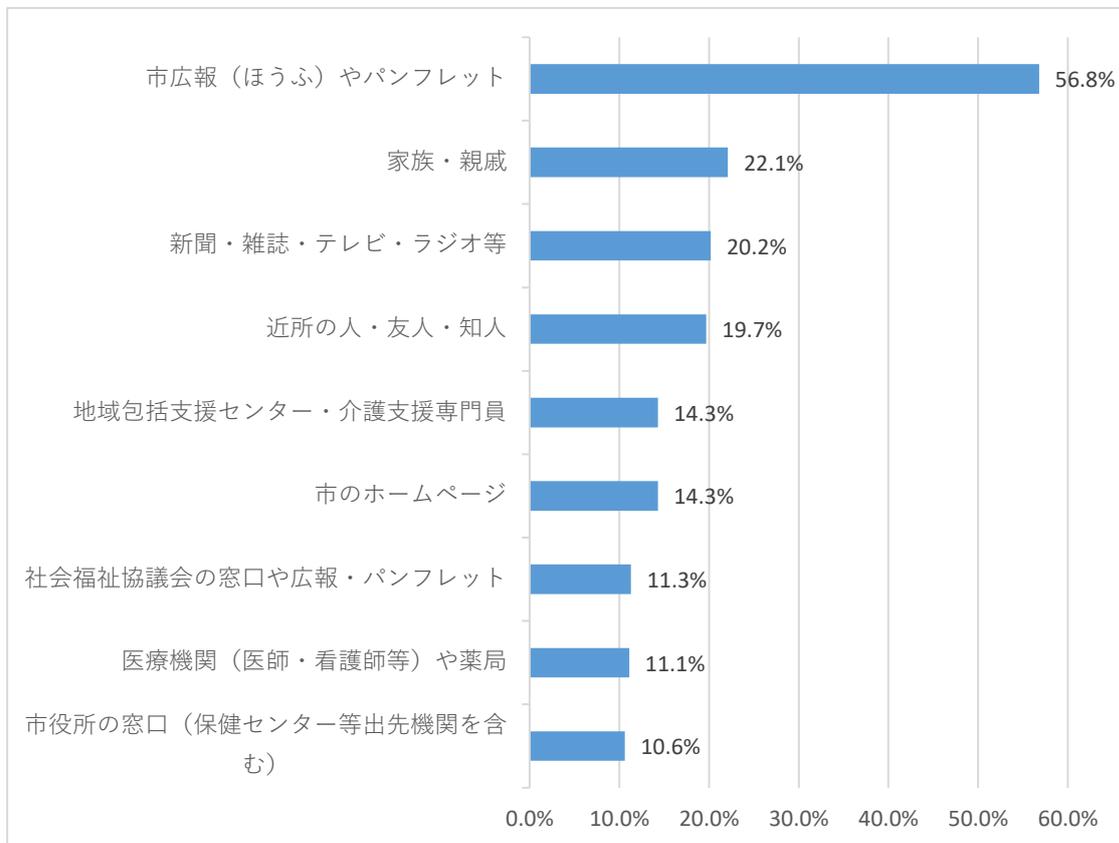
ア 福祉への関心

前回調査(2019年)とほぼ同じ傾向であるが、「とても関心がある」「ある程度関心がある」が減少しており、「あまり関心がない」「まったく関心がない」が増加している。

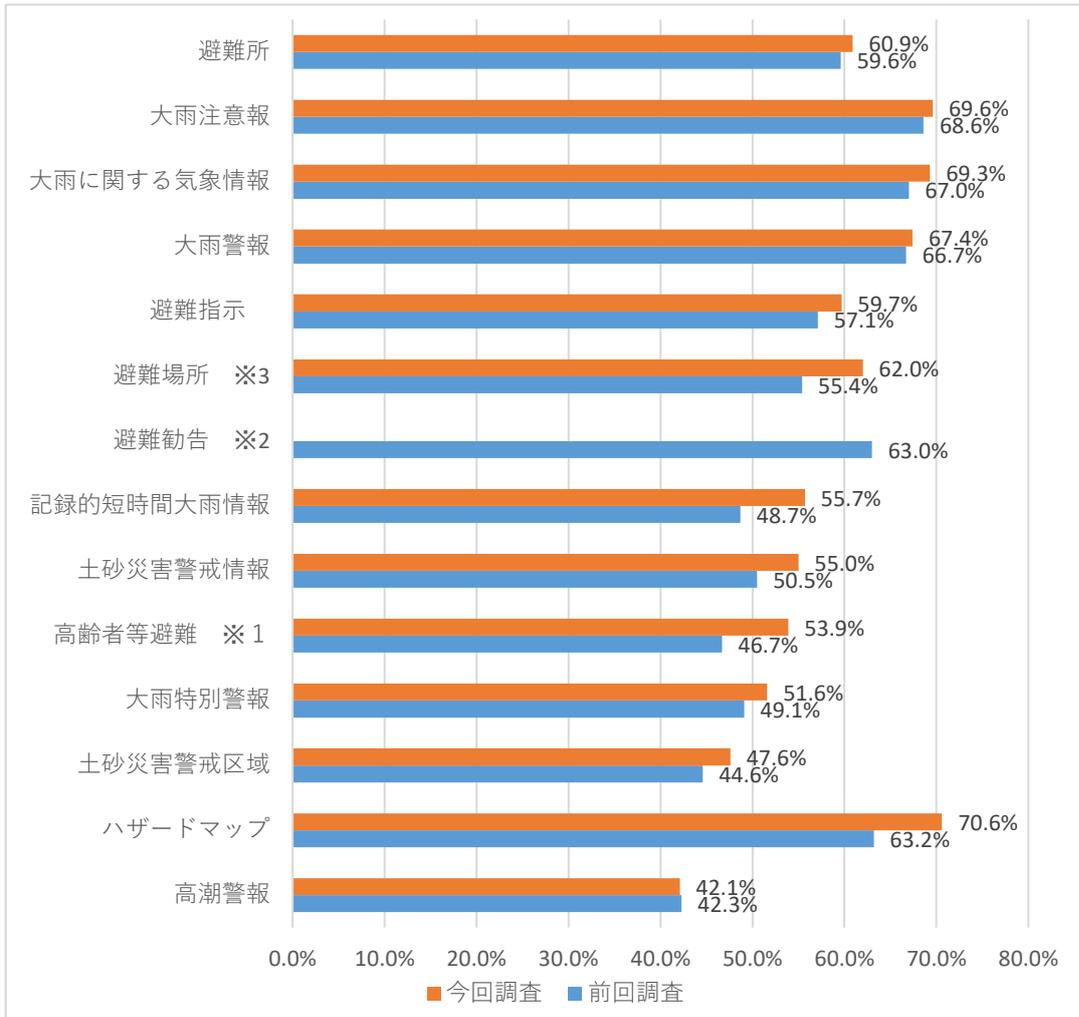


イ 福祉サービスの情報源

福祉サービスの情報源としては、市広報（ほうふ）やパンフレットが一番多い



(6) 防災への関心（防災に関して言葉の意味がわかるもの）  
 防災に関する用語について、市民の理解が広がっている。



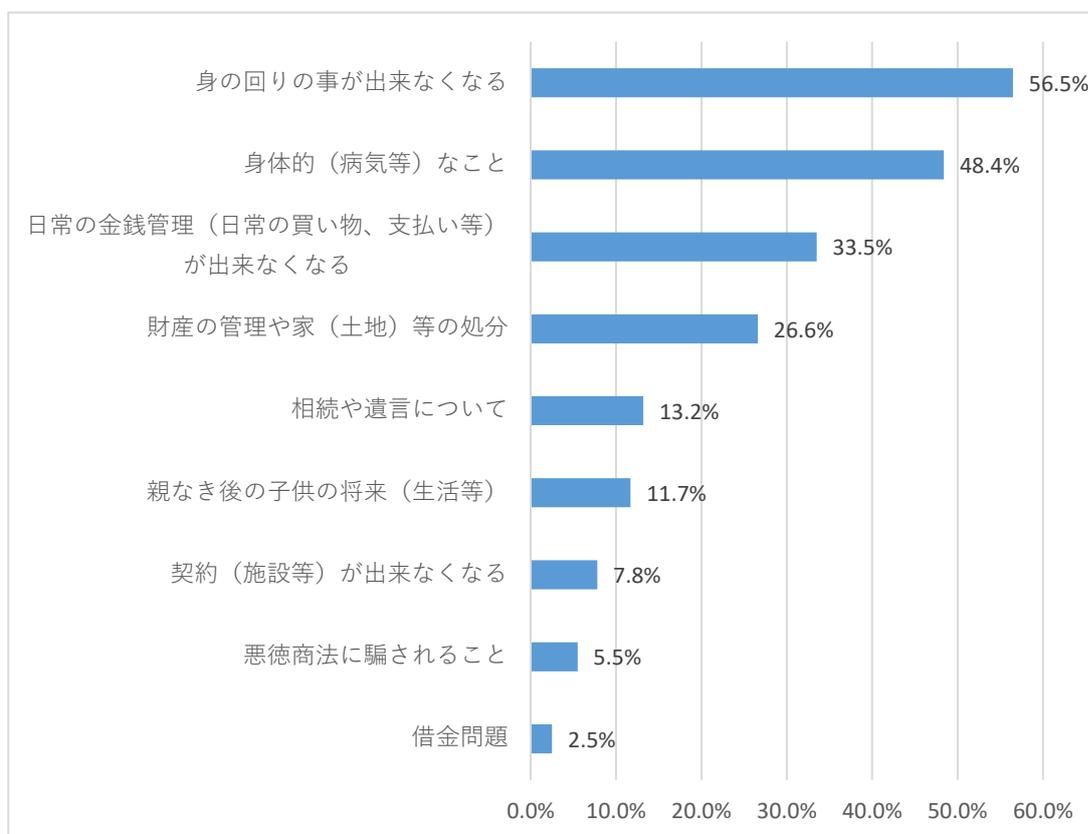
※1 「高齢者等避難」は、前回の「避難準備・高齢者避難開始」から変更

※2 「避難勧告」今回の調査では廃止

※3 「避難場所」は、前回の「緊急避難場所」から変更

### (7) 将来への不安

将来への不安としては、身の回りの事が出来なくなること、身体的（病気等）などが多かった。

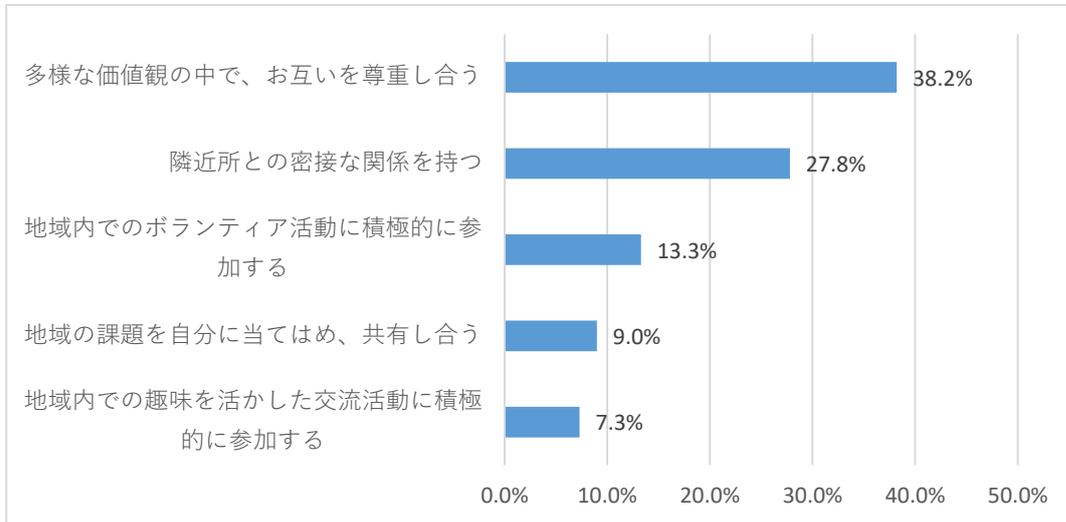


### (8) 住民・社会福祉法人・行政の役割

地域福祉を進めていくためには、住民・社会福祉法人・行政の協力が必要とされています。

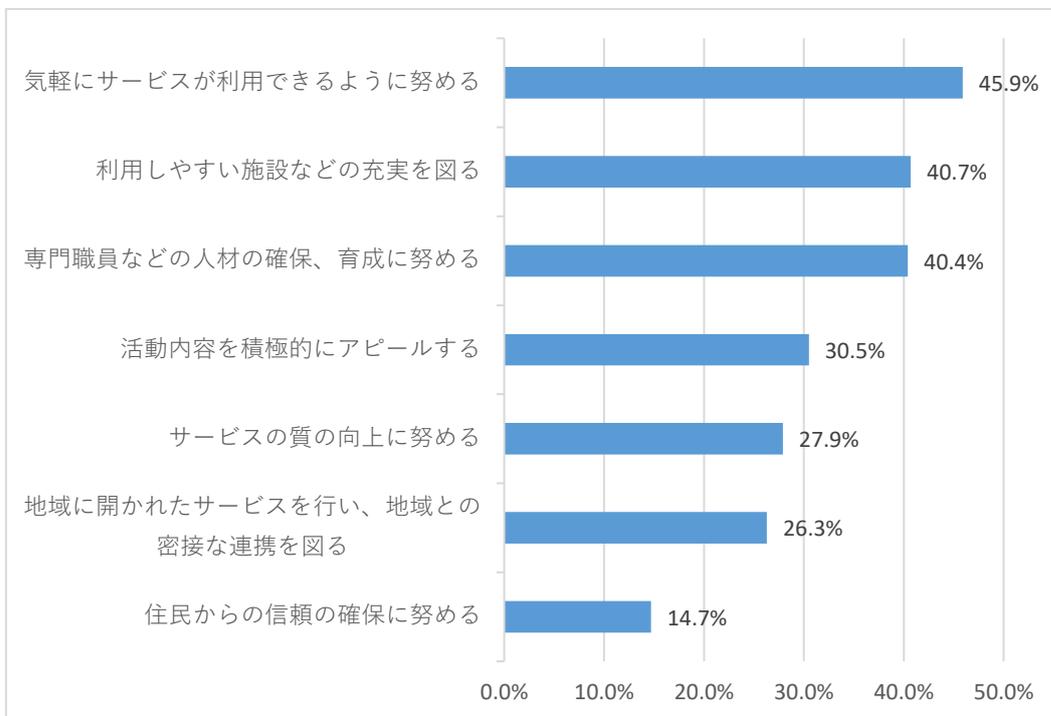
#### ア 住民の役割

住民の役割として、多様な価値観の中で、お互いを尊重し合う、隣近所との密接な関係を持つが上位を占めた。



#### イ 市社会福祉協議会や社会福祉法人の役割

市社会福祉協議会や社会福祉法人の役割として、気軽にサービスが利用できるように努めること、利用しやすい施設などの充実を図ることが上位を占めた。



## ウ 行政の役割

行政の役割として、福祉に関するわかりやすい情報の提供、地域における福祉サービスの向上が上位を占めた。

